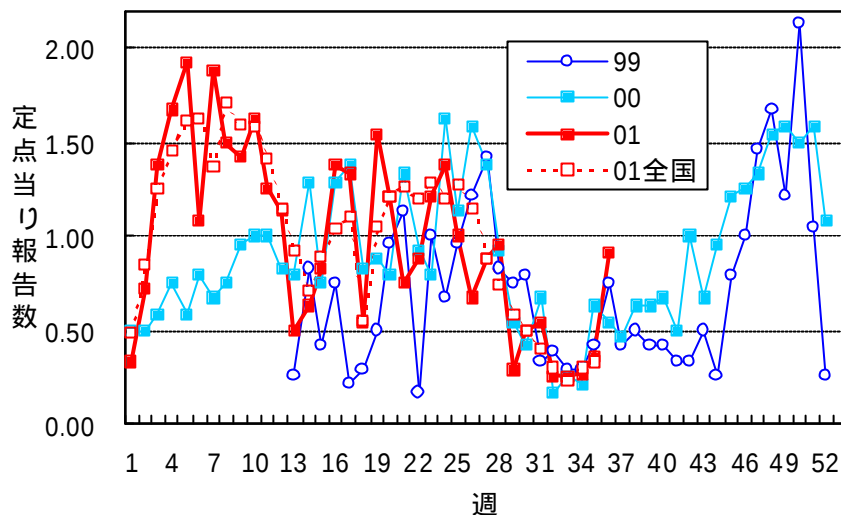


コメント

1. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

今週の定点当りの報告数は0.91人で、先週の0.35人から急増しています。特に、佐伯区が定点当り4.33人と多く、続いて安芸区2.50人となっています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



4 類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号
インフルエンザ	-	-	-		麻疹(注1)	6	0.26	0.13	
咽頭結膜熱	-	-	0.29		流行性耳下腺炎	10	0.43	0.42	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	0.91	0.54	↑	急性出血性結膜炎	-	-	-	
感染性胃腸炎	36	1.57	1.71	→	流行性角結膜炎	13	1.63	1.38	
水痘	7	0.30	0.50		急性脳炎(注2)	1	0.14	-	
手足口病	13	0.57	1.50	↗	細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	14	0.61	0.17	↗	無菌性髄膜炎	2	0.29	-	
突発性発疹	25	1.09	0.71		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.14	
百日咳	-	-	-		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	
風疹	-	-	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	8	0.35	0.75						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		殆ど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 36 (小児科定点含む)
小児科定点数 23
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 成人麻疹を除く
(注2) 日本脳炎を除く
(注3) オウム病を除く

1 類～4 類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾病名	報告数	累積
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	32 東区・女性・10歳
4	急性ウイルス性肝炎	1	9 男性・36歳・B型

4 類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

			成人麻疹	クラミジア肺炎 (注3)	マイコプラズマ 肺炎	無菌性髄膜炎	細菌性髄膜炎	急性脳炎(注2)	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	流行性耳下腺炎	麻疹(注1)	ヘルパンギーナ	風疹	百日咳	突発性発疹	伝染性紅斑	手足口病	水痘	感染性胃腸炎	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	咽頭結膜熱	インフルエンザ
報告数	広島市	第34週	-	-	3	2	-	3	11	-	30	6	10	-	-	30	9	11	17	40	6	-	-
		第35週	-	-	4	1	-	14	2	13	-	14	11	2	2	2	20	8	11	32	8	7	-
		第36週	-	-	2	2	-	10	6	13	-	10	8	-	-	-	25	14	13	7	36	21	-
定点 当り	広島市	第34週	-	-	0.43	0.29	-	0.43	1.38	-	1.30	0.26	0.43	-	-	1.30	0.39	0.48	0.74	1.74	0.26	-	-
		第35週	-	-	0.57	0.14	-	0.61	0.09	1.63	-	0.61	0.48	0.09	0.09	0.09	0.87	0.35	0.48	1.39	0.35	0.30	-
	広島県	第36週	-	-	0.29	0.29	-	0.43	-	1.63	-	0.43	0.26	-	-	-	1.09	0.61	0.57	1.57	0.91	-	-
		第34週	-	-	0.14	0.14	-	1.46	0.16	1.65	-	1.46	0.16	0.77	0.01	0.01	1.07	0.28	0.55	0.76	2.15	0.23	0.58
全国	全国	第35週	-	-	0.24	0.05	-	1.75	-	-	1.01	0.07	0.57	0.07	0.05	0.85	0.23	0.50	0.32	1.81	0.27	0.66	-
		第34週	0.02	0.27	0.18	0.09	0.01	1.60	0.11	1.65	0.05	1.60	0.11	1.01	0.01	0.01	0.96	0.30	0.65	1.85	0.30	0.27	0.02
		第35週	0.01	0.21	0.18	0.06	0.01	1.36	0.09	1.37	0.03	1.36	0.09	0.88	0.01	0.01	1.00	0.29	0.75	1.81	0.33	0.21	0.01

(注1)成人麻疹を除く (注2) 日本脳炎を除く (注3) オウム病を除く

4 類感染症報告状況の推移 (STD(性感染症) 基幹病院定点月単位報告分)

報告数	広島市	7月 8月	性器クラミジア 感染症			性器ヘルペス ウイルス感染症			尖形コンジローム			淋菌感染症			メチシリン耐性黄色 ブドウ球菌感染症			ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症			薬剤耐性 緑膿菌感染症		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
定 点 当 り	広島市	7月	23	18	5	6	3	3	3	2	1	26	25	1	56	33	23	31	16	15	1	-	1
		8月	19	14	5	8	4	4	4	3	1	28	25	3	75	47	28	17	11	6	3	2	1
	広島県	7月	2.56	2.00	0.56	0.67	0.33	0.33	0.33	0.22	0.11	2.89	2.78	0.11	8.00	4.71	3.29	4.43	2.29	2.14	0.14	-	0.14
	全国	8月	2.11	1.56	0.56	0.89	0.44	0.44	0.44	0.33	0.11	3.11	2.78	0.33	10.71	6.71	4.00	2.43	1.57	0.86	0.43	-	0.14
定 点 当 り	広島市	7月	2.57	1.09	1.48	0.61	0.17	0.43	0.52	0.17	0.35	1.57	1.35	0.22	8.42	5.26	3.16	1.26	0.79	0.47	0.42	0.26	0.16
		8月	3.99	1.75	2.25	0.90	0.38	0.52	0.46	0.26	0.21	2.22	1.87	0.35	3.60	2.18	1.42	0.60	0.36	0.24	0.17	0.10	0.06
	広島県	8月	2.57	1.09	1.48	0.61	0.17	0.43	0.52	0.17	0.35	1.57	1.35	0.22	8.42	5.26	3.16	1.26	0.79	0.47	0.42	0.26	0.16
	全国	8月	3.99	1.75	2.25	0.90	0.38	0.52	0.46	0.26	0.21	2.22	1.87	0.35	3.60	2.18	1.42	0.60	0.36	0.24	0.17	0.10	0.06

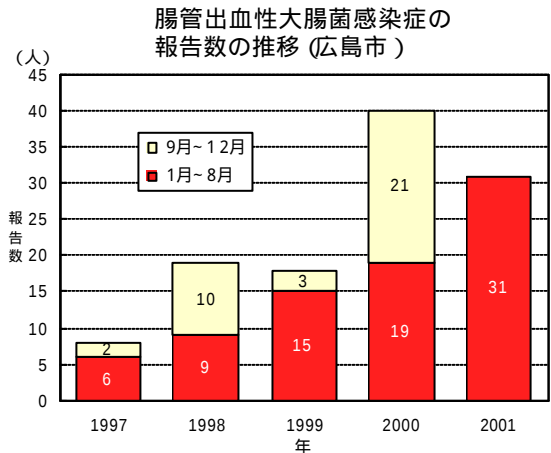
新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者 年齢	性別	住所	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	4	不詳	県外	2001/07/29	咽頭拭い液	アデノウイルス3型
手足口病	3	女	東区	2001/07/16	咽頭拭い液	コクサッキー A16型
無菌性髄膜炎	2	女	中区	2001/07/16	髄液	ムンプスウイルス
無菌性髄膜炎	0	男	廿日市市	2001/08/04	咽頭拭い液 糞便 髄液	コクサッキー B 4型
意識障害	4	男	安佐南区	2001/03/24	咽頭拭い液	コクサッキー A 9型

(参考)

腸管出血性大腸菌感染症

広島市において、近年、腸管出血性大腸菌感染症の報告は増加傾向にあります。
特に今年は8月末までに31名の報告があり、昨年の同時期を超える報告数となっています。



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2001年第36週(9月3日～9月9日)